

埼玉県勤労者山岳連盟 第23期登山学校 ⑥天気の見方

1班 奥村雅 記

日時 2018年11月4日(日)
場所 岩殿山
メンバー 班長：松井秀樹 副班長：仲村純一郎 遠藤美穂 記録：奥村雅
担当運営委員：小松勝浩 若林信彦
行程 大月駅集合 9:00
9:00～9:10 駅前で運営委員の方から挨拶
大月駅 9:10～9:40 岩殿山ふれあいの館(体操) 9:50～10:10 岩殿山(写真撮影) 10:25～11:00(ロープ4カ所)～ 11:50 天神山 11:50～12:10
稚児落とし(昼食) 12:55～13:25 浅利集落登山口 13:45～14:20 大月駅

記録

昨日講義終了後講師の方から話があった通り雨を予感させる雲である。スパッツを履いて行くか行くまいかと悩んだが、本降りにはなるまいとの話を信じて履かないで家を出る。行く途中、豊田駅で1班の班長とばったり出会い一緒に大月駅に行く。

駅前は我々が体操をするだけの広さがなく、ふれあいの館で体操をすることとして運営委員の方の挨拶もそこそこに岩殿山に向かう。約30分でふれあいの館着。運営委員のリードで準備体操をして再び登りにかかる。暫くすると岩殿山頂上。大月市の秀麗富嶽十二景に選ばれている景色を堪能したいと思っていたが天気は好転せず、淡い期待は水泡と化する。ここで全員集合の記念写真をパチリ。

一旦分岐まで戻って稚児落としに向かう。30分程で最初の難関である岩場に到着。鎖はあるが運営委員の方が補助にダブルフィギュアエイトループ?で何カ所かに瘤を作ったロープを垂らして下さり、登るのが容易になる。一人一人岩登り講義、実技で習った技術を駆使して登攀。岩場を過ぎると今度は大きく抉れた下り坂をロープを使いながら下る。所々バランスを崩し振られて転びそうになる。我々の前を親子が下っていたが、小学生の子は不平も言わずに小さな体、手足総動員で下っている。健気な姿が胸を打つ。

天神山を越え前方に稚児落としが見えてくる。途中の岩の上から雲にかかった富士山の一部が見える。岩の下は奈落。とても下を見る気にはなれない。稚児落としに到着したら少しパラパラ。そこで昼食を摂る。天気が良いれば最高であろうと頭の中で想像をしてみる。北西の空には巻層雲や層雲、高層雲等が見える。食事してお茶するのが精一杯でゆっくり雲について復習すれば良かったと後になって思う。

12:55に下山開始。途中樹木が岩に付いていた土ごとめくれて倒れている。岩に堆積した砂や土の上に種子が飛んできて長い年月を経て成長した樹木なのであろう。倒れたのは今年の台風の影響であろう。自然とは恐ろしい。14:20に無事大月駅到着。楽しい登山でした。運営委員の皆様には大変お世話になりました。有り難うございました。

第23期登山学校「天気の見方」講座

2班 記録係 中島奏子

【机上講座】

- ・日 時：11月3日（土） 9：30～16：30
- ・場 所：浦和コミュニティセンター 14会議室
- ・講 師：駒崎弘安講師、山口雅彦講師
- ・講義内容：①天気の基本知識
②雲の見方と観天望気
③天気図の利用（地上から高層）
④雷と火山

【実技講座】

- ・日 時：11月4日（日） 9：00～14：30
- ・場 所：山梨県大月市「岩殿山」標高634m（スカイツリーと同じ）
- ・講 師：高橋五男講師、小林和文講師
- ・4班メンバー：大塚政俊（班長）、津久井裕（副班長）
川原富子、中島奏子（記録）
- ・実技内容：「観天望気」空を見上げて雲、風、気温の変化について学ぶ

地点	到着・出発時間	行動・感想など
大月駅	9：00～9：10	集合、受付 班でまとまり移動 ※雲…層積雲と教わる
岩殿山 ふれあいの館	9：37～9：50	ストレッチ、衣服調節 コンパスを振り出発 途中、小雨 が降る ※雲…乱層雲
岩殿山頂	10：13～10：23	写真撮影（集合、班ごと） 晴れていれば富士山が見えるが、 本日は見えず残念
兜岩	10：54～	岩場、鎖場、ロープを使って1人 1人慎重に進む 他の登山者もいて時間がかかる
天神山	11：45	通過

稚児落とし	12 : 15～12 : 55	昼食 小雨が降ったり、薄日が差したりを繰り返す 昼食後、断崖絶壁の岩は迫力満点だった。
浅利集落	13 : 20～13 : 30	全体のまとめ、ストレッチ 評価カードの記入・提出 班でまとまり、大月駅に向かう
大月駅	14 : 20～14 : 30	班ごとにまとめ、解散 下山報告

【まとめ】

実技講座の日は天気がすっきりしないことが多く、今日も小雨と曇りで、途中富士山を見ることが出来ず残念だった。

今までは、日々の生活や登山に行く前に天気予報を見て天候や気温はチェックすることが多いが、天気図を見ることはほとんどなく、観天望気という言葉も今回初めて聞いた。

今回、天気の見方の講座を受けて、やや私には難しい内容だったが、雲の種類が分かり天気の予測ができれば、登山開始時間の変更、エスケープルート、装備の選択などの登山計画が立てられ危険回避ができると改めて思った。

今後も時々、空を見上げ雲を見たり天気に関心を持って勉強していきたいと思います。
運営委員の皆様ありがとうございました。

埼玉労山登山学校 『天気の見方』講座 実技報告 3班

記録 佐藤哲郎

日時 2018年11月4日(日)

場所 山梨県大月 岩殿山(標高634メートル)

班員 佐藤恵子(班長) 田中利彦(副班長) 山田知才 佐藤哲郎

運営委員 尾手利雪氏 山口雅彦氏

(1) スケジュール

- ① 大月駅 9時集合
- ② 大月駅出発 9時12分
- ③ 岩殿山ふれあいの館到着 9時37分 準備運動後、9時50分発
- ④ 山頂手前の石碑着 10時14分 集合写真後 10時22分発
- ⑤ 鎖場 11時18分着
- ⑥ 稚児落とし 12時25分着 昼食後13時出発
- ⑦ 浅利集落 13時30分着
- ⑧ 大月駅 14時25分到着 解散

(2) 学んだこと

1) 天候・観天望気について

- ① 午後から雨天の予報となっていたが、9時の集合時にすでに曇天となっており、10時過ぎにはわずかながら少雨。低い雲で雲の見分けは難しかった。西方向の山には層雲が見られた。
- ② 途中から青空が顔を出すか、不安定な天気。十種雲形を判別しようとしたが、なかなか難しく、その後の天気の予測が困難であった。高積雲が西の方面に見られた。

2) 登山について

- ① 岩殿山は礫岩でできており、登山道も大小さまざまな小石の道が多かった。上りではそれほど苦勞する場面はなかったが、下り道では足を取られる場面が多く、山口さんからのアドバイスでフラットフットイング、歩幅も小さく歩くことで、スムーズな歩行ができることが分かった。
- ② 鎖場・岩場では、3点支持を意識して上ったが、バランスを崩す場面もあり、徹底することのむずかしさを実感した。
- ③ 登山のペース管理についてもご指摘いただきました。つついオーバーペースとなりがちでしたが、息が上がらないペースで、班員の足並みを揃えて歩くことの重要性を認識しました。

以上

埼玉労山登山学校 『天気の見方』講座 実技報告 4班 記録 柏

【参加者】(敬称略)

滝澤 (スポット)、滝島 (班長)、成田 (副班長)、三ツ堀 (サポート) 植村 (事務局)、駒崎 (事務局)、柏 (記録) 【集合】大月駅 9:00

【行程】9:11 大月駅出発 乱層雲が空一面に。雨もポツリポツリ。

9:27 岩殿山丸山公園登山口通過

9:37 ふれあい館 (丸山) にて準備体操。ここまでで十分アップできてはいたがお決まりなので。

9:50 ふれあい館出発、公園のような体の階段を登る。今年为天候が異常なのかヤマツツジが狂い咲きしている。

10:02 三ノ丸跡展望台 (乃木将軍詩碑) にて集団写真撮影。岩殿山山頂はさらに先だが今日はここを山頂とする。10:23 三ノ丸展望台出発

10:50 本日の核心の鎖場 (兜岩の巻道) 到着 渋滞のための通過に1時間弱を要する。

12:01 天神山通過。振り返ると岩殿山が見える。今日は曇から雨の予想であったが、富士山の峰がが辛うじて見える。

12:19 稚児落とし到着。昼食とする。稚児落としとは岩殿城小山田家の悲しい歴史に由来するらしい。素晴らしくも恐ろしい岩場。



青空が望めたため、本日の主目的である観天望気を行う。高層雲の隙間から巻層雲を垣間見る。

「あれはクラゲ雲か」、「いや違う。高層の積雲に巻層の巻雲が重なって見えるだけ。本当にクラゲ雲が見えたらヤバイ」などと先生方が会話している。

南海上に湿帯があることは高層天気図で確認していたが、本州は二つの高気圧があり、大月あたりはその谷間。大きく崩れることはないだろう、という大方の予想だった。



12:56 稚児落とし出発。下山開始。

13:23 浅利地区下山口を通過

13:30 ストレッチ体操後、解散。班ごとに大月駅に向かう。

14:19 大月駅到着

【感想】観天望気の研修で岩殿山へ。様々な雲が観察できるとのことでこの山が選ばれた。前日に机上講習で地上天気図と高層天気図を確認。二つの高気圧の谷間で南海上から湿った空気が入り込む雨の予報で、確かに出発時は空一面が乱層雲で雨がぱらついたが、やがて積雲の隙間から高積雲、巻層雲、巻雲がのぞく。期せずして様々な雲を観察できる研修となった。雲の観察という山歩きの楽しみがまた増えた。心配した雨もなく無事大月駅まで全員下山。(記録: 柏)